

宮城県林業技術総合センター



令和5年6月8日

令和5年度第1回宮城県試験研究機関評価委員会

1. 運営方針・重点分野等
2. 研究開発・技術支援等体制
3. 研究者の確保・育成
4. 研究施設・設備等の状況
5. 産学官との連携
6. 研究成果の状況
7. 技術支援関係業務等の状況
8. 研究マネジメント等



1. 運営方針・重点分野等

(1) 林業試験研究・技術開発戦略の体系

新みやぎの森林・林業の

将来ビジョン(H30~R9)

→ 政策推進の基本方向

- 1 一層の産業力強化
- 2 森林の多面的機能のさらなる発揮
- 3 地域や人材の育成
- 4 震災からの復興と発展

震災復興プラン(H23~R2)

→ 復興に向けた3つの柱

- 1 サプライチェーンの復興
- 2 海岸防災林の再生と県土保全の推進
- 3 木質バイオマスの多角的利用モデルの構築

センターでは...

宮城県林業試験研究・技術開発戦略 (R元~R10)

→ 3つの基本方向, 6つの重点テーマ

1. 運営方針・重点分野等

(1) 林業試験研究・技術開発戦略

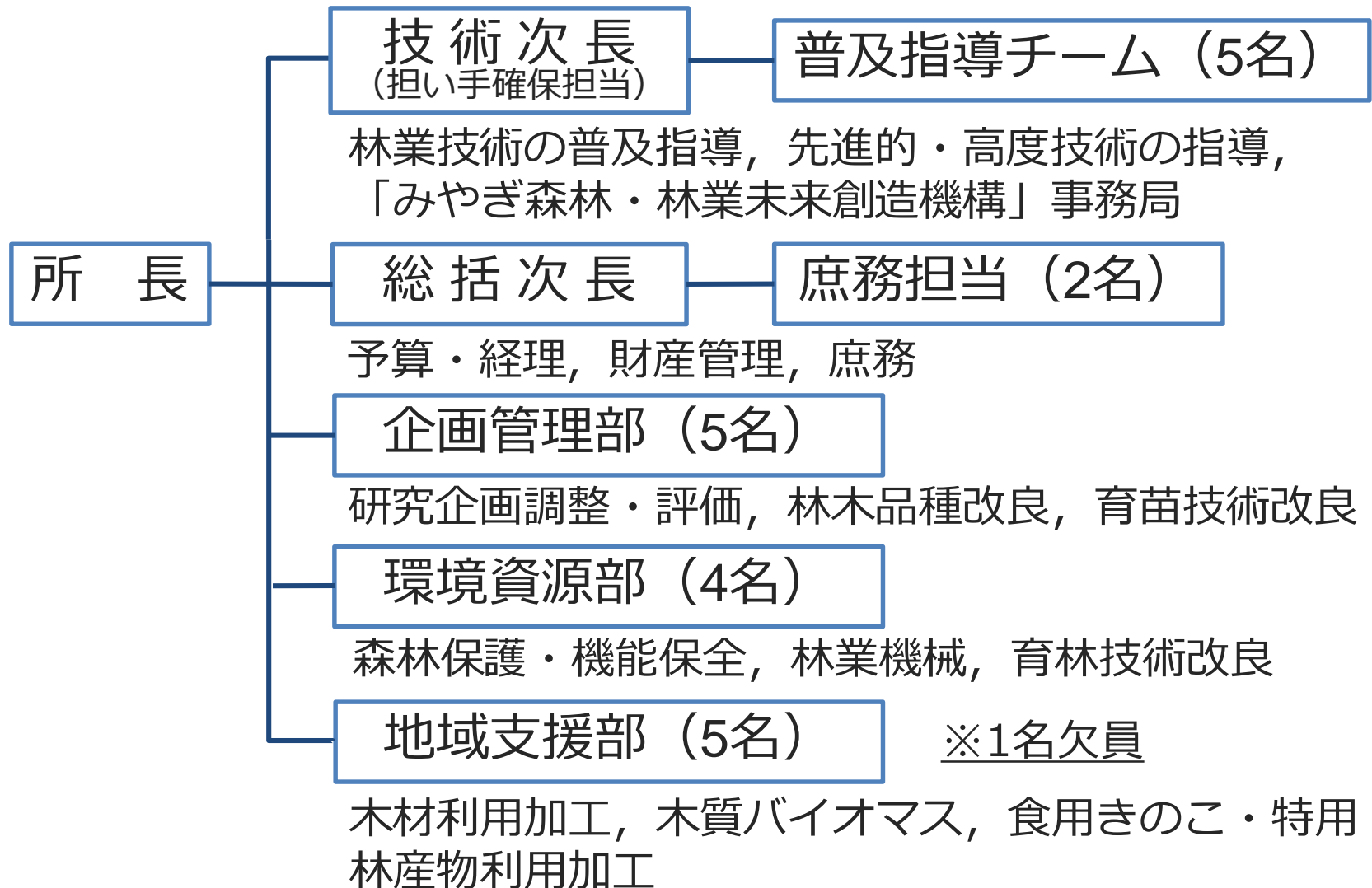
基本方向	重点テーマ
1 林業・林産物の一層の産力強化をけん引する技術の開発	より優れた県産製品や新たな木材需要創出のための研究・技術の開発
	林業の成長産業化を実現する優良品種開発や県産木材の高度加工技術の開発
	森林情報の高度化・共有化に向けた研究・技術の開発
2 森林の持つ多面的機能のさらなる発揮に向けた技術の開発	再造林等による適切な森林更新のための研究・技術の開発
	森林の適切な保全と多様で健全な森林へ誘導するための研究・技術の開発
3 震災からの復興と発展を支える技術の開発	海岸防災林の管理技術の確立と特用林産物の新たな栽培・利用技術の開発



2. 研究開発・技術支援等体制

(1) 組織体制

令和4年3月31日時点

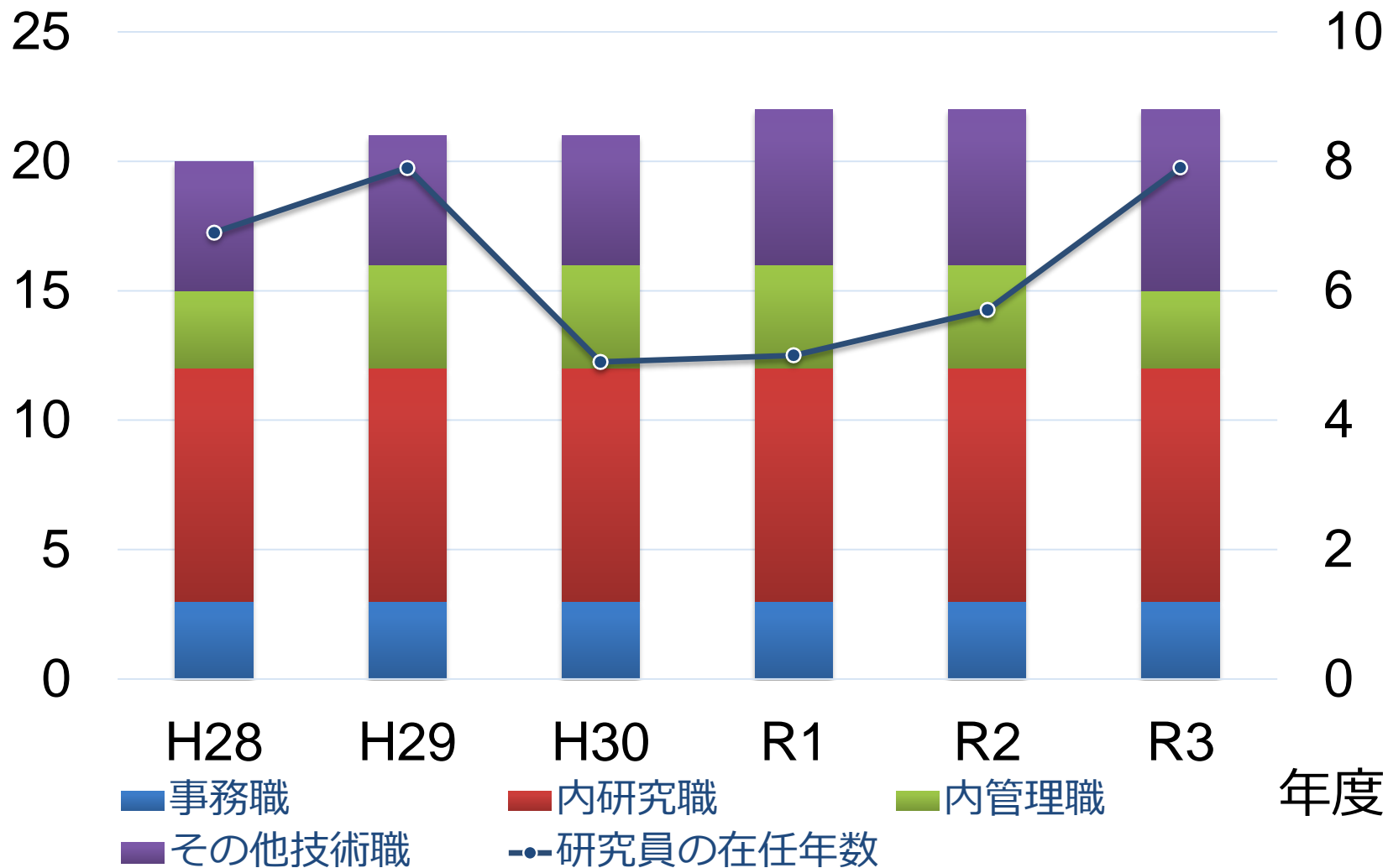


2. 研究開発・技術支援等体制

(2) 職員の配置数の年度別推移

職員の数（人）

研究員の
平均在任年数（年）



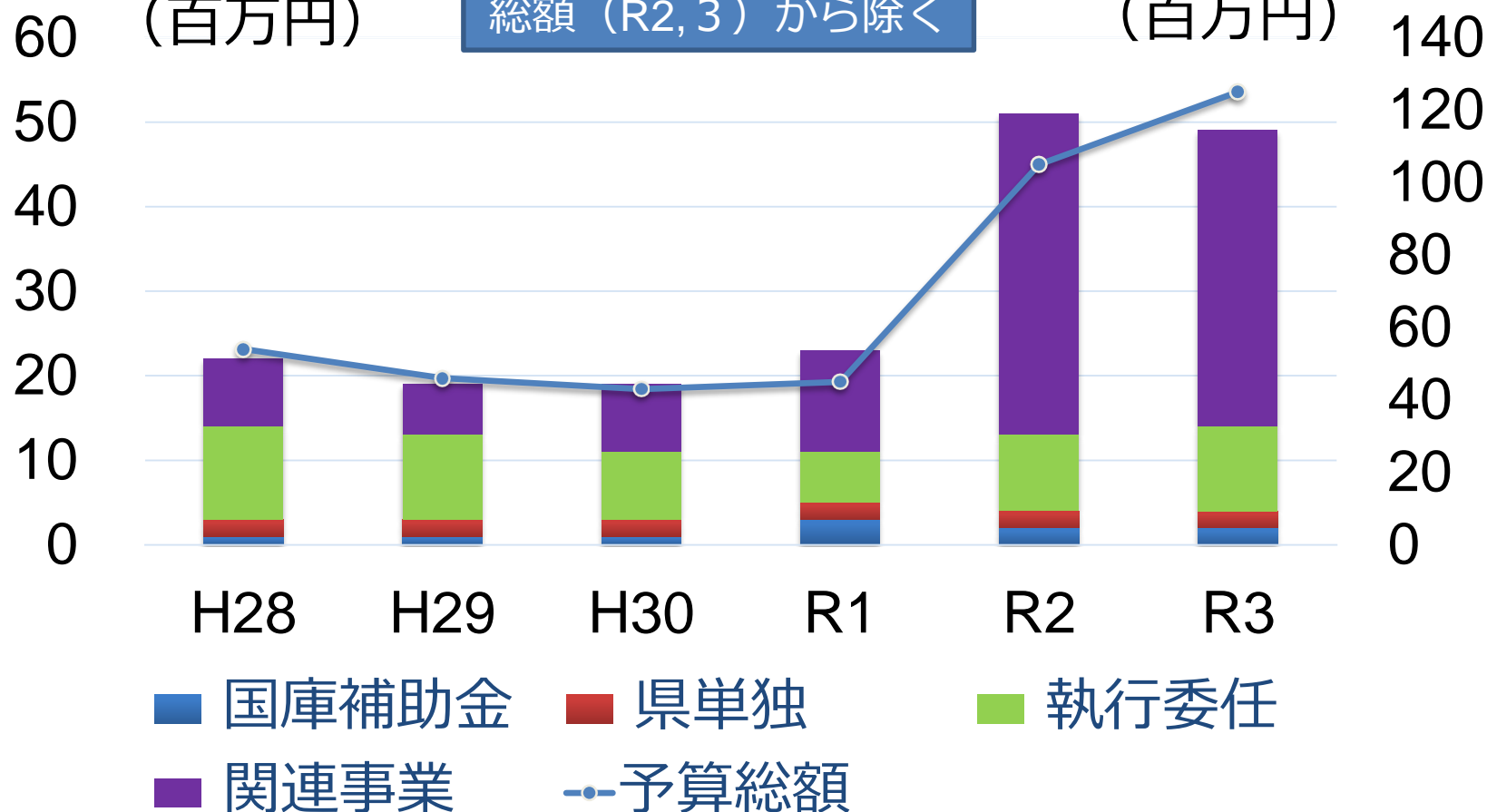
2. 研究開発・技術支援等体制

(3) 予算の推移

研究費等の推移
(百万円)

新本館建築9関連を予算
総額 (R2, 3) から除く

予算総額
(百万円)



H28分から関連事業を研究費に計上。

ex.花粉症対策品種等増産, 次世代造林樹種生産体制整備, マツノマダラカミキリ発生予察など

3. 研究者の確保・育成

(1) 研究員の研修状況

		る基礎的な統計処理や研修者に必要な知見の獲得方法など	19日間	
	農林水産省農林水産	新任研究員として必要な知見	9日間	
	農林水産省農林水産 会議事務局 筑波産学	放射能測定に関する基礎知識や能力取得	2日間	1名
	農林水産省農林水産	新任研究員として必要な知見	2日間	
R3	森林総研		3日間	
氏 ~ 3			46日間	



3. 研究者の確保・育成

(2) 職員表彰等

氏名・チーム名	
	水産林政部長表彰 適応化による地域産品化取組
	水産林政部長表彰 CL等県産スギ需要拡大に向けた開発と県内業へ支援
R3	宮城県スマート林業推進プロジェクト 林業興課長表彰 するスギ第二世代品種開発と供給基盤構築 スマート林業進に向けた森林調



4. 研究施設・設備等の状況

(1) 土地の利用状況

苗畑								
	10.5	7.3	5.9	1.2	37.0	13.1	11.7	86.7
	7.1	0.3			2.6	3.1	2.5	15.5
計	17.6	7.6	5.9	1.2	39.6	16.2	14.2	102.3



採穂園



展示林（広葉樹保存林）



見本園



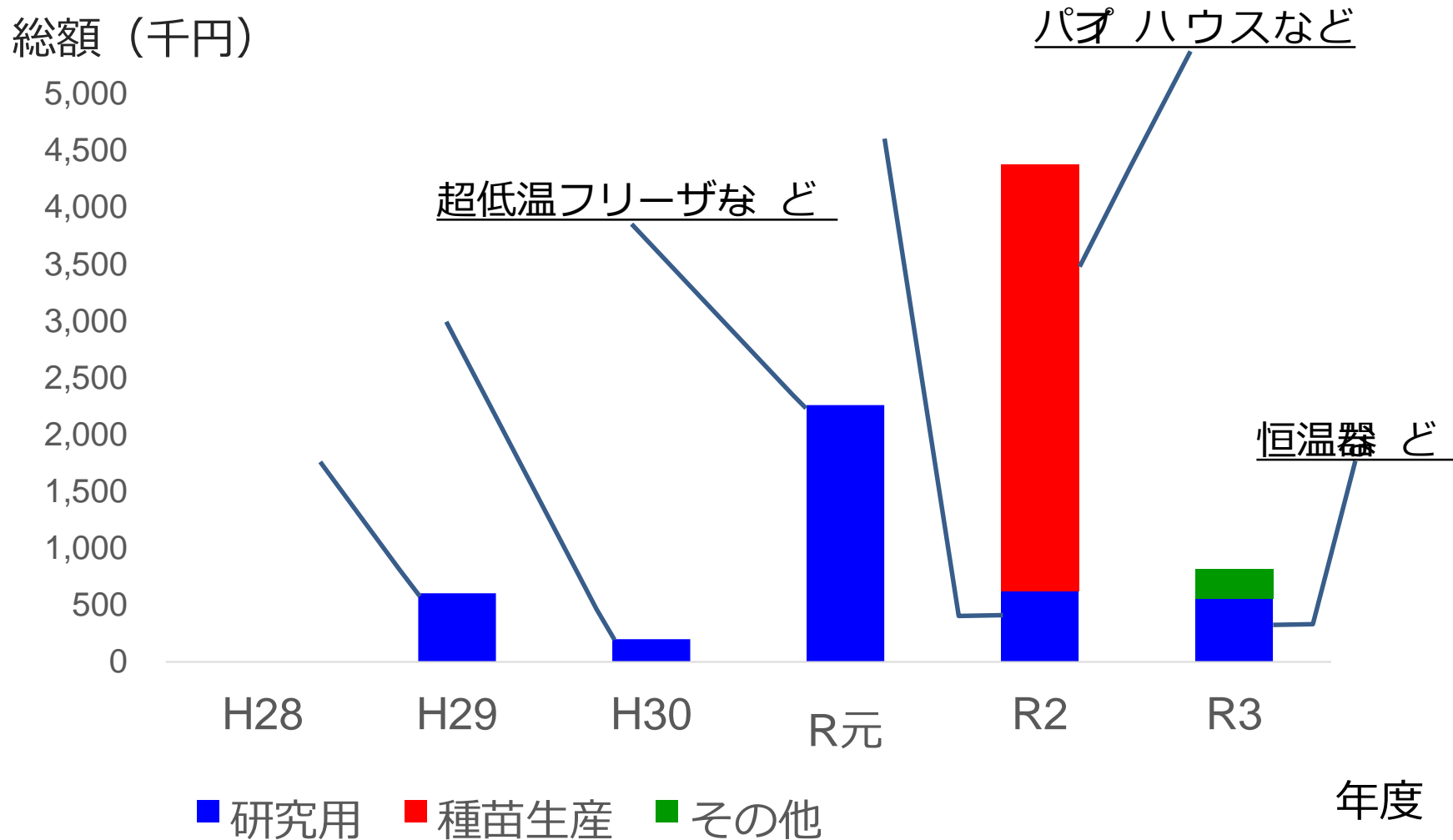
4. 研究施設・設備等の状況

(2) 主な施設と整備状況

事務 研棟	R 3年	執務 , 研室 ,	—
研棟	R 3年	研究室	—
木材利用加工	H元年		H21改修) H29外装改修
木材第2実験棟	H9年	引張試験機など	—
きのこ栽培			H21改修)
ミストハウス	R 3年		H25鉄骨修繕 H28透過外装 交換

4. 研究施設・設備等の状況

(3) 主な機械・器具～近年の主な備品整備状況～



5. 産学官との連携

産学官連携による研究実績：予算（千円）

括弧内件数

	H28~30	R元	R2	R3	R元~3
	0	0	0	0	0
民間団体)	9,401(6)	2,046(1)	523(4)	357(2)	2,926(7)
連携 受託含む)	10,757 (11)	4,030(4)	6,701(4)	8,114(5)	18,845(13)
行政と連携	21,363 (26)	6,056(7)	41,339(12)	31,840(13)	79,235(32)
行政と連携	7,453(12)	2,512(2)	2,045(2)	1,807(2)	6,364(6)
合計	48,974 (55)	14,644 (14)	50,608 (22)	42,118 (22)	107,370 (58)

5. 産学官との連携

林業普及指導との連携実績

プロジェクト名称	実績	
森林経営管轄 度及び市町村森 林圃 推進 民国	73	村森林整備圃 実 行 管 理 支 援
林業 用 ・ 所得	128	林業事業 おける安定した事業 と事業 益 確 保 基 づ いた 作業員 雇 用 改善 向 けた 取組 支援
みやぎ森林・林 業 来 創造力	811	林業 志 望 する 若者 や 知識 ・ 技術 の 多様な 二 次 対 応 した 礎 を 実施
	1,012	



しいたけ原木林再生PT
(コナラ植栽)



一貫作業によるコンテナ
苗植栽 (低コスト造林)



市町村森林整備計画・
民国連系PTの様子

6. 研究成果の状況

(1) 過去3年間の研究課題～木材加工分野～

	開始	R2	R3	終了	
県産スギ材でのツーバイフォー部材化に向けた研究 ツーバイフォー建築に求められる県産スギ部材の開	H29 R2	→	→		県単
高齢級人工林の材質に関する研究		→	→	R3	県単

(林 強度 能)

「ツーバイフォー建築に求められる 県産スギ部材開発」ほか

置よる 歩増 量を変え 歩留まを 上げ 能 性が示唆され。

(集 資源の有効用)

「蓄 級太 林 材 質 に関する 研究」

小さく 甚 年輪幅が小さ ば ヤング係数が表 なる 傾 が見られ ち が 明らか な た。

- ・ 県内の製 所を対象に流通 査をした結果 大径 を扱う製 所の割合が表 い

6. 研究成果の状況

(1) 過去3年間の研究課題～特用林産分野～

	開始	R2	R3	終了	
野生特用林産物の放射性物質汚染状況把握及び汚染低減化に関する研究	H29			R3	県単
しいたけ原木林の利用再開に向けた萌芽枝等の放射性物質推移に関する研究	H30			R4	執行委任
				R5	執行委任

特用林産物における放射性C対策)

「野生特用林産物放射性物質汚染状況把握及び汚染低減に関する研究」ほか

ウムが移している籠性が示され。

「宮城県産きのこの新品種開発ーハタケシメジ野外栽培品種ー」

・ハタケシメジの菌糸選抜の結果、選抜試元菌の性を保持もくは上図菌糸

6. 研究成果の状況

(1) 過去3年間の研究課題～経営機械・森林保護分野～

	開始	R2	R3	終了	
	H30	→		R2	執行委任
森林の復元に関する調査	H28	→		R2	
二ホンジカの食害を受けた森林の更新に関する調査	R3		→	R5	
二ホンジカの効率的な捕獲方法に関する検討と実証	H30	→		R4	国庫補助



6. 研究成果の状況

(1) 過去3年間の研究課題～林木育種分野～

	開始	R2	R3	終了	
スギ及びクロマツの第二世代品種開発に関する研究	H30			R4	県単
	H30			R3	執行委任
カラマツの挿し木苗生産技術の開発とスギ挿し木コンテナ苗の現地適応性の検証				R3	国庫補助

(苗木産 の低コスト化)

「カラマツの挿し木苗産 技術開発とスギ挿し木コンテナ苗の現地適応性の検証」

- ・スギ 定母樹の歳量調査の結果 14 箇 の下刈り省略が示唆され 。

6. 研究成果の状況

(1) 過去3年間の研究課題～育林・森林管理分野～

	開始	R2	R3	終了	
生育基盤盛土を伴うクロマツ海岸防災林の健全化に向けた調査	R2		→	R4	執行委任
宮城県におけるカラマツの生育適地の検証等に関する調査	R3		→	R7	執行委任

「宮城 におけるカラマツの生育適 地の検証 に関する調査」



6. 研究成果の状況

(2) 特許取得・品種登録等の状況～特許利用実績～

改質材の製法および改質木材難燃処理技術（H24.7.3権利放棄）

土留パネル、土留材および土留固定法（H28.10.2権利放棄）

横桟用補強材および土留間桟を利用した転落防止柵（R1.10権利更新）



括弧内はR元～3実績

6. 研究成果の状況

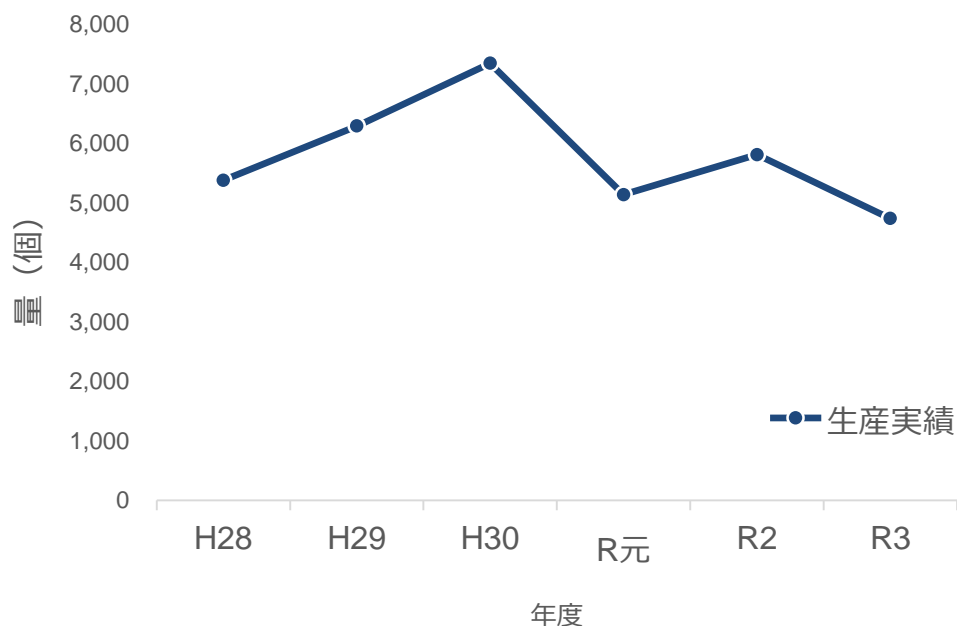
(2) 特許取得・品種登録等の状況～登録品種利用実績～

登録品種の名称

みやぎLD2号
(空調機用ハタケシメジ)

			R2	R3	
LD号	7	40	2	1	7
母菌配布実績	7	40	2	1	7

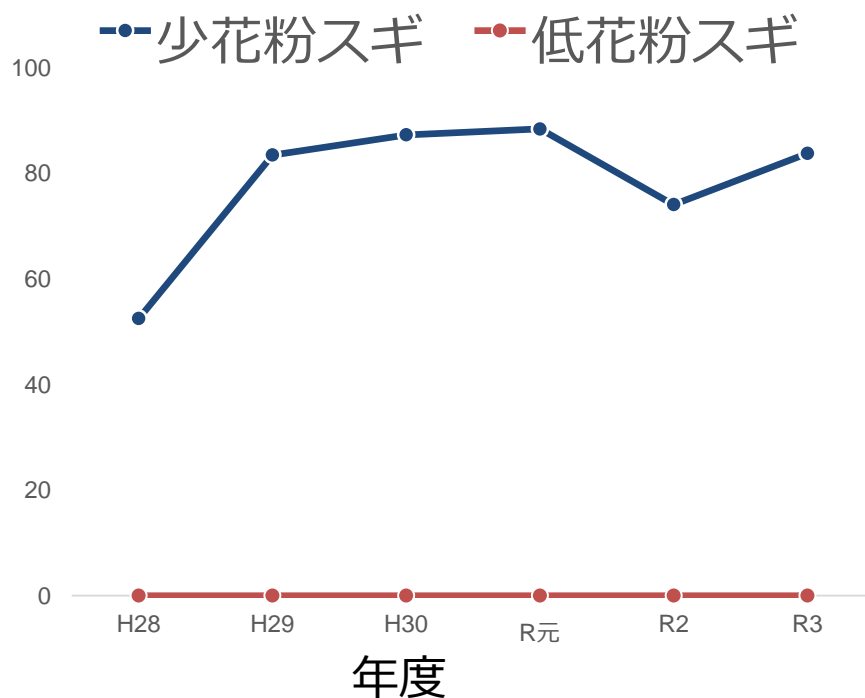
菌床の生産実績推移



6. 研究成果の状況

(2) 特許取得・品種登録等の状況～林業用品種利用実績～ スギ花粉対策品種

刈田号，宮城号，玉造号，



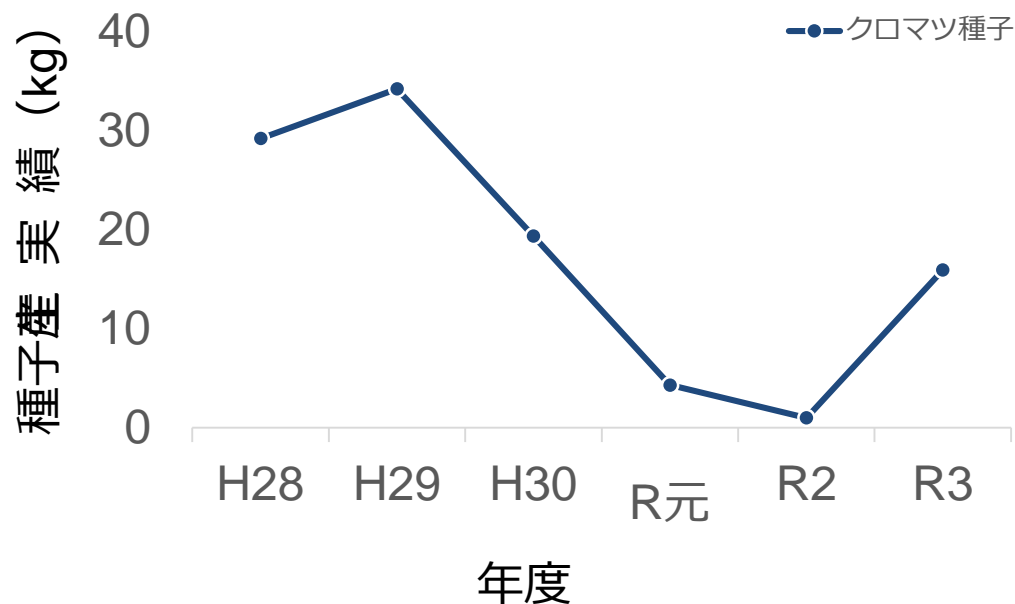
又ト内での挿付状況

6. 研究成果の状況

(2) 特許取得・品種登録等の状況～林業用品種利用実績～ マツノザイセンチュウ抵抗性品種（アカマツ・クロマツ）

アカマツ	暫定採種園設置
クロマツ	

クロマツ種子出荷実績推移



抵抗性 □ マツ採種園

6. 研究成果の状況

(3) 研究報告・発表・成果普及の状況

単位：課題

		R2	R3	氏 ~ 3 合計	摘要
(査読あり)	2	1		1	森林立地
林業関係誌等	4	1		1	公立林業試験研究機関 成果選集
センター研究報告	12	5	2	7	
	-	-	-	-	
学会発表	16	2	1	7	東北森林科学会 日本木材学会など
	16	7	4	4	15



6. 研究成果の状況

(3) 研究報告・発表・成果普及の状況

年度	執筆・発表者
林業技術総合センターの業務と最近の成果	
「丸森ブランドのタケノコ」産地再生に向けて	大河原地方 「林業新知識」 全国林業改良普及協
	技術主査 「林業新知識」 全国林業改良普及協
R3	栗原地域事 務所 堀籠健人 「林業新知識」 全国林業改良普及協
未来に向けて歩む宮城県林業技術総合センター ～持続可能なみやぎの森林・林業の創造に向け て～	所長 齋藤和彦 ほか 宮城県林業振興協会
	技術主査 林業就業促進事例集



7. 技術支援関係業務等の状況

(1) 技術支援・相談の実績～林業技術相談～

		氏～R3 合計		主な相談内容
		24	4	森林整備の現 指 導
育	種	2	0	
育	苗	0	4	種苗産者へ栽培機指導
		31	16	
		25	30	林強靱験
		52	63	ハタシメジ栽培機指導
		2	0	
		0	0	
		3	6	
		14	8	放射性物質測定苔除去
		162	127	



7. 技術支援関係業務等の状況

(1) 技術支援・相談の実績～木材等試験～

件数

試験項目					R2	R3	
材質試験		全乾法)	180	150	0	30	180
強度試験		圧縮	90	12	16	0	28
		曲げ	69	0	0	0	0
			45	6	77	128	211
		曲げ	248	156	13	48	217
合板及び集成材の接着性能試験		浸漬剥離	0	0	0	0	0
			632	324	106	206	636

依頼者別			R2	R3	
製 合 板 製	5	3	1	3	7
	6	3	2	2	7
	1	0	0	0	0
その他	3	0	0	0	0

※ 他 は宗教 人 大学など

7. 技術支援関係業務等の状況

(2) 研修事業の実績～普及指導事業～

単位：普及対象者数（人）

			R2	R3	
の産業力強化	7,096	832	805	1,205	2,842



広葉樹フローリングの製品化検討



森林認証材初出荷
(米川生産森林組合)



はたけしめじ菌床伏込み現地指導



7. 技術支援関係業務等の状況

(2) 研修事業の実績～普及指導事業～

単位：普及対象者数（人）

			R2	R3	
のさらなる発揮	10,124	1,457	1,016	1,131	3,604



築 地 業 シス 法 の 検 討



7. 技術支援関係業務等の状況

(2) 研修事業の実績～普及指導事業～

単位：普及対象者数（人）

活動テーマ			R2	R3	
	13,315	767	582	701	2,050



林業人材育成ステップアップ総合研修



7. 技術支援関係業務等の状況

(2) 研修事業の実績～普及指導事業～

単位：普及対象者数（人）

			R2	R3	
興と発展	4,026	135	117	120	372



原木しいたけの安全性PR
(仙台市中央郵便局)



たけのこ出荷制限解除説明会
(丸森町)



7. 技術支援関係業務等の状況

(2) 研修事業の実績～人材育成～

研修等の名称	実施日数・受講者数			
	R元	R2	R3	
一般県民等を対象とした研修				



林業教室 間伐実践講座



里山林の管理基礎講座 伐木教育



市町村担当職員研修



7. 技術支援関係業務等の状況

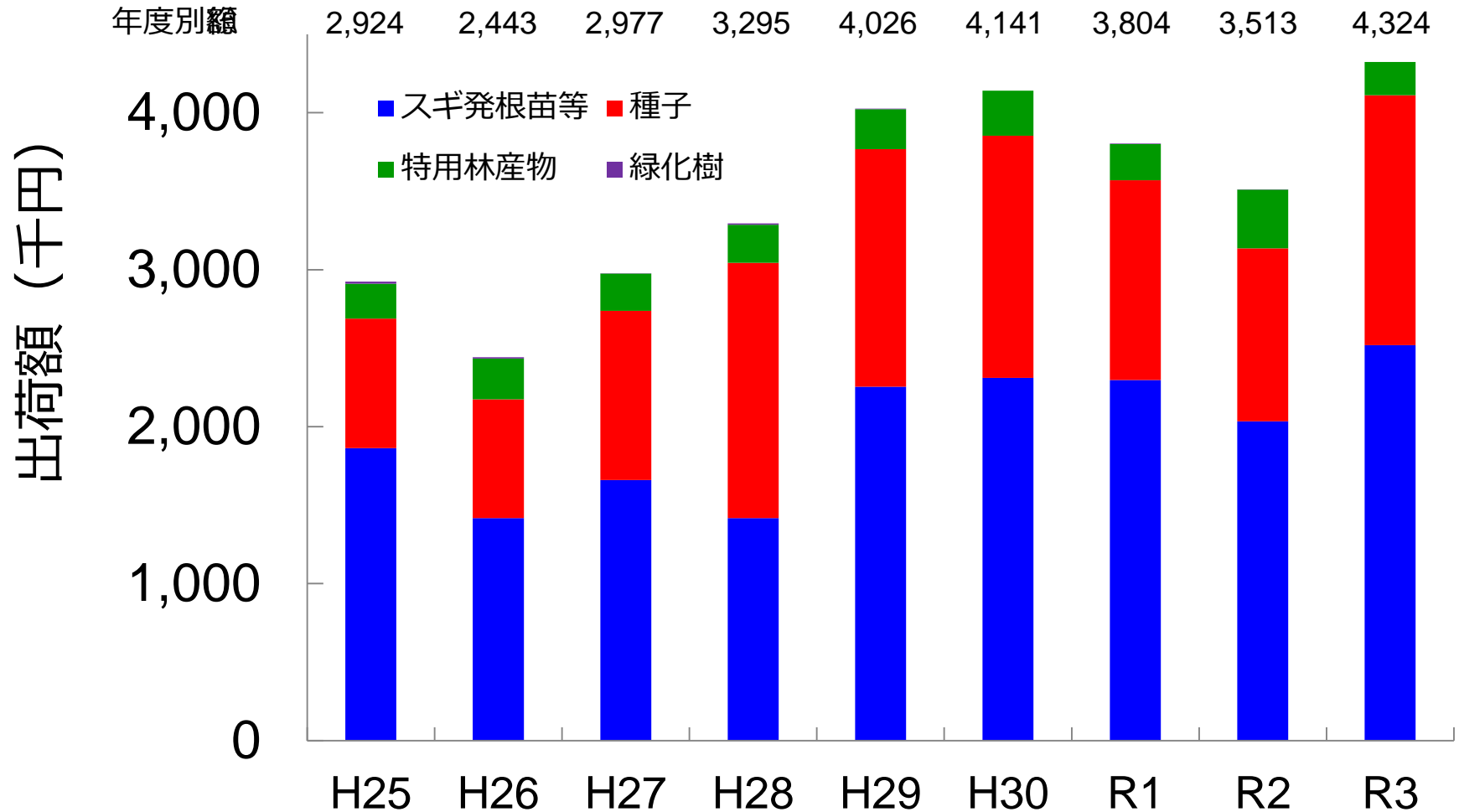
(3) 育種種苗等の配布

			R2	R3	
スギ種子	132.8	58.3	51.2	55.8	165.3
少花粉スギ種子	1.1	0.4	0.6	0.2	1.2
クロマツ種子	7.0	4.0	0	6.5	10.5
抵抗性クロマツ種子	82.8	4.3	1.0	15.9	21.2
	65.1	16.0	20.7	19.6	56.3
	4.1	2.2	1.8	1.0	5.0
	292.9	85.2	75.3	99.0	259.5
スギ発根済み苗等	223,320	88,440	86,544	105,300	280,284



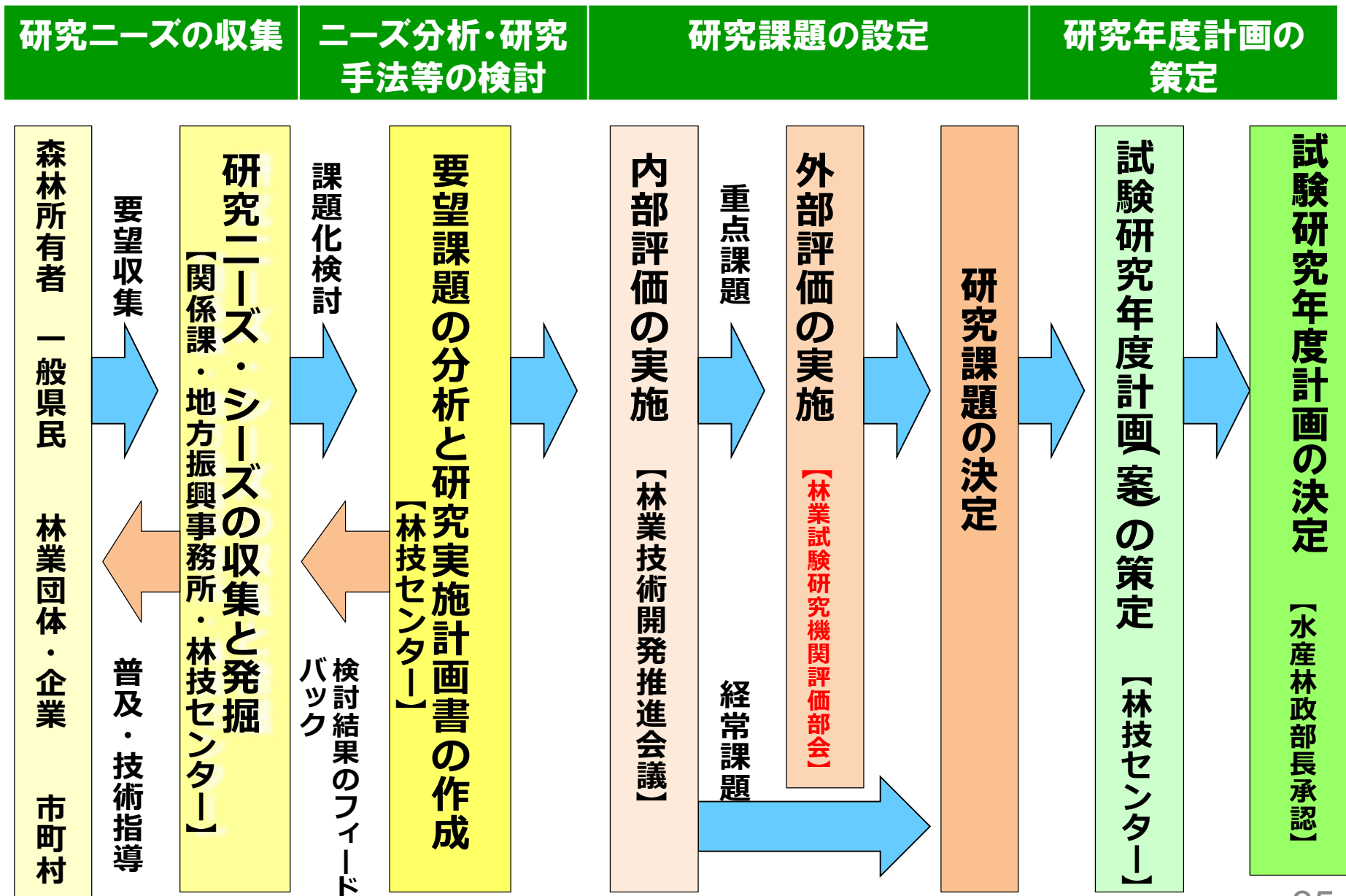
7. 技術支援関係業務等の状況

(4) 種苗等の出荷実績

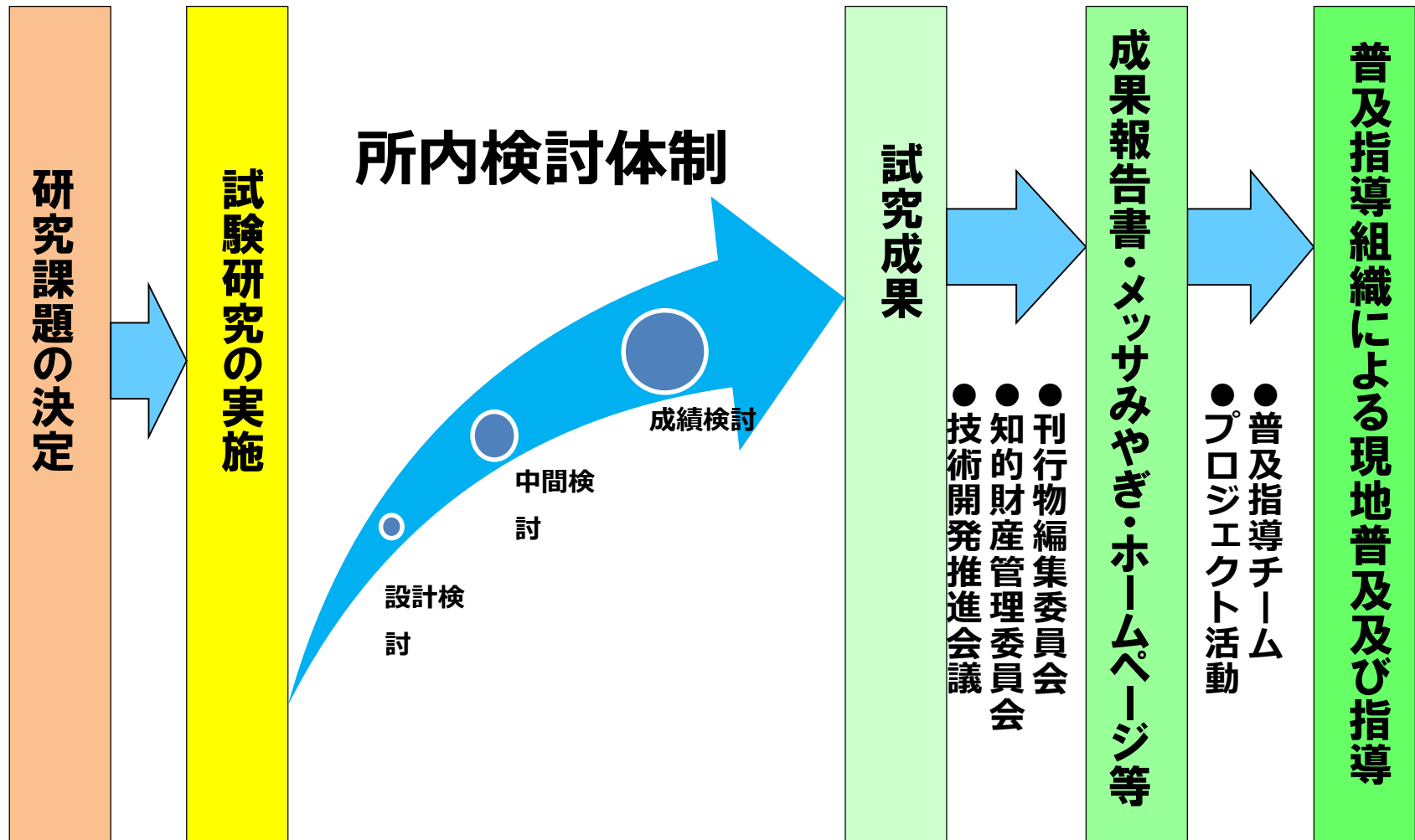


※生産物販売収入は、作業員の雇用などの予算へ組み込み

8. 研究マネジメント等



8. 研究マネジメント等



機関評価の概要と対応状況

1. 研究機関の運営方針・重点分野

評価 A：4名

優れている

県の 概 略 等と 合 致しており、適切な 運営方針 重点分野が掲げ られている。



機関評価の概要と対応状況

2. 研究開発・技術支援等体制

評価 A : 2名 B : 1名 C : 1名 適切である

・ 機関 運営方針や重点分野が広範 あり に対し、わが 9名 研究員 対応し



機関評価の概要と対応状況

3. 研究者の確保・育成

評価 A : 2名 B : 2名

適切である



機関評価の概要と対応状況

3. 研究者の確保・育成



□対応

・国策
研究者 施する研修や東北森林科学会大会 どの 参加や専門誌 定期購読により、研
知見 習得に努めておりますが、新型口 の 5類移行も踏まえて今後より積



機関評価の概要と対応状況

4. 研究施設・整備等、研究環境の整備

評価 A : 2名 B : 1名 C : 1名 適切である

- ・ 高い技術を取り入れた木造事務・研究棟、研修棟が新設されるのは注目に値し、研究環境の充実に加えて、優秀人材を呼び込むために機能することを期待したい。



機関評価の概要と対応状況

4. 研究施設・整備等、研究環境の整備



対応

また、購入だけでなく可能機器類につきましても、大部分対応しております。さ



機関評価の概要と対応状況

5. 共同研究等産学官連携による研究内容の充実

評価 A : 3名 B : 1名

優れている

- ・外部機関との共同研究や連携、研究費は必ずしも多ないが、ある程度実績が維持されている。また、予算措置された研究以外にも大学の共同研究を



機関評価の概要と対応状況

6. 研究成果の状況

イ. 産業・社会的ニーズに貢献しうる成果が十分にあがっているか。

評価 A : 4名

適切である

・各研究分野において計画された研究が**養 集 施**されており**ス ギ の 蕪 粉**品種登録



機関評価の概要と対応状況

6. 研究成果の状況

□. 研究成果の普及体制が適切に構築されているか。また、普及実績は十分か。

評価 A : 1名 B : 2名 C : 1名 適切である

・学会誌での研究報告 極めて限られており、学会やシンポジウムでの発表も決して



機関評価の概要と対応状況

7. 技術支援関係業務等の状況

イ. 当該技術支援業務の推進を積極的促進する業務として組織全体中に明確に位置付けられている。

評価 A : 3名 B : 1名

適切である

・研修機会が豊富に設けられているため、業務中の対応は適切と思われる。



対応



機関評価の概要と対応状況

7. 技術支援関係業務等の状況

- . 当該技術支援業務機関における明確な方針で地域産業高度化に十分貢献し得るものとなっている。

評価 A：3名 B：1名

適切である

- ・木材 材質・強度試験 センターの施設を活用した技術支援業務が行われている



機関評価の概要と対応状況

8. 研究マネジメント

評価 A : 3名 B : 1名 優れている

機関運営 円滑に行われているよ、研究マネジメントは適切だと考えられる。



対応



機関評価の概要と対応状況

9. 総合評価

評価 A : 2名 B : 2名 適切である

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響もあり地域産業等に対して直接的貢献機会が



機関評価の概要と対応状況

9. 総合評価



対応

- ・御指摘 と おりス ギ は 比較的 柔 か く 手触りが良いと 、直線 的 木 質 美しさ、
通気性や防水性が高ゆ いった性質を持っており、内装材や家具、調度 品 ど 広く使



機関評価の概要と対応状況

その他意見等

- ・研究は 長年 経験 蓄積が必要 ので、在勤数 が一定以上必要 と思いますが、

